

はくぶつかんネット

第29号

~ GINOWAN MUSEUM ~



本年も、宜野湾市立博物館をどうぞよろしく！！

2007年

1 ~ 3月

3ヶ月に1回発行
(次号は、4月15日)

発行: 宜野湾市立博物館
<TEL> 098-870-9317
<FAX> 098-870-9316
<HP> <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>
<HP> <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

宮城館長からの 新年のご挨拶



博物館イメージキャラクター

天女ちゃんと察度くん

新年明けましておめでとうございます。皆様には清々しく新年をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。

旧年中は当市立博物館の企画事業であります「あわもり ~ 古酒づくりのすすめ展」をはじめ、「新収蔵品展」、「宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」、「慰霊の日のミニ展示」、講演会「宜野湾市の洞窟めぐり」、「宜野湾市の地質地形と湧き水」、子ども博物館教室の「わらば一体験じゅく」など各種の企画事業におきまして、皆様方のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

また、本市をはじめ市外の方々から数多くの貴重な資料を寄贈していただきましたことに深く感謝申し上げます。

年頭に当たりまして皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も宜野湾市立博物館に対しまして、格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。 館長 宮城

平成18年度 第1回講演会の報告

「宜野湾市の洞窟めぐり No.6」の報告！



普天満宮洞穴にて

昨年の11月25日(土)に、「宜野湾市の洞窟めぐり No.6」を開催しました。

参加者は22名で、午後1時～5時までたっぷり4時間かけて、普天満宮洞穴(普天間)、クマイアブ(字宜野湾)、チヂフチャーガマ(浦添市)、マヤーガマ(大山)の4ヶ所の洞窟を見学しました。

講師の新垣義夫先生(普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長)による洞窟に関する様々なお話を聞きながら、身近にある自然の洞窟を見学しました。参加者はすばらしい体験ができたと大変喜んでおりました。

参加者からの感想には、「地質学や歴史、戦争についての総合的な宜野湾市の事が学べる点が良かったです」「洞窟は個人では入ることのできない所なので、貴重な体験ができました」「たくさんの人に見てほしいので、また企画してください」などがありました。

参加者はこの見学会を通して、宜野湾市の自然や文化、歴史について肌で学ぶことができたようです。 比嘉

平成18年度 第2回講演会の報告

「宜野湾市の地質地形と湧き水」の報告！

去った12月10日(日)午後1時～5時まで、「宜野湾市の地質地形と湧き水」と題した見学会を開催しました。

今回は大城逸朗先生(理学博士・宜野湾市立博物館協議会委員)と、新垣義夫先生(普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長)2名の講師の案内で、我如古ヒージャーガー(我如古)、嘉数アガリガー(嘉数)、森の川(真志喜)、喜友名泉(喜友名)、ヒージャーガー(大山ターナム畑)の5ヶ所の湧き水を見学しました。

参加者は21名で、「講師の方々の丁寧でユーモアあふれる解説で、理解しやすく楽しい学習でした」「一口では語れない程の新発見、感動の連続でした」「市民として、“水”について考える必要性を感じました」などの感想が聞かれました。

実際に湧き水を見学しながら学ぶことができ、参加者は有意義な時間を過ごす事ができたようです。 比嘉



嘉数アガリガーでの様子

毎年、博物館では2～3回の講演会(見学会や講習会を含む)を開催しています。もし「こういう内容をやってほしい」等のご要望がありましたら、気軽に博物館職員に声をかけてくださいね！

平成18年度 わらばー体験じゅくの報告

「第7期 わらばー体験じゅく」の途中経過

新年明けましておめでとうございます。気分新たに頑張ろうと思っている、「わらばー体験じゅく」担当の末吉です!!

さて、昨年6月から始まった「わらばー体験じゅく」も残すところ2回となってしまいました。6月から12月までに「第1回・開校式&博物館探検」、「第2回・じの〜んの綱引き」、「第3回・闘牛する?!」、「第4回・ターンムの植え付け」、「第5回・漆喰 de シーサーづくり」、「第6回・みんなで豆腐作り」、「第7回・バードウォッチングと植物採集」と計7回の体験を行い、様々な事を子ども達と学んできました。「第1回・開校式&博物館探検」の頃は、おとなしいと思っていたわらばー達も、今では本性を現し説明を聞かないこともある程、元気いっぱい楽しんでくれています(苦笑)。

特に印象深かった回は、やはり自分達で作った豆腐を食べた第6回でしょうか。いやいや、迫力満点の闘牛を間近に見た第3回も捨てがたいです。つい先月終わった、第7回ではターンム畑に多くの自然が残っていることが分かりましたし、第4回には少しだけですが、農家の方の苦労を体験できました。こうして考えてみると、どの体験も甲乙つけがたいです…。主役は子ども達なので子ども達が楽しんでくれたら、担当にとっても一番ですけれど(笑)。

「第7期わらばー体験じゅく」は残り2回ですが、子ども達と共に全力投球で頑張ります 末吉



「ターンムの植え付け」での一コマ



「じの〜んの綱引き」での様子

～・～ 写真を募集しています ～・～

あなたの思い出を展示させてくれませんか？



これまでに市内外の方々からの要望が多かった事をふまえ、宜野湾市立博物館では今年、「今昔の写真展(仮称)」を開催する予定です。そこで、皆さんのお宅で眠っている宜野湾市の風景写真や、何かの時には出してきた眺めている行事の写真(運動会や学芸会など学校行事も含む)等をお貸し頂けないでしょうか。年代が分かっていると助かりますが、「いつの時代か全く見当もつかない」というくらい古い写真も大歓迎です。皆さんの思い出を持ち寄って、素晴らしい展示会にしましょう

詳しくは、098-870-9317 (担当:末吉)まで、ご連絡ください。

上記の「今昔の写真展(仮称)」の予告&協力願いとして、ミニ展示会「じの〜ん写真展(仮称)」を、宜野湾市立博物館にて開催します。

予定日時：2007年 3月1日(木)～3月25日(日)

お節料理 & お正月料理



明けましておめでとうございます。2007年の開幕です
さて、お正月と言えばやっぱり普段とは違ったおいしい料理も
楽しみの一つですよ。そう、お節料理のことです。名前に「節」
とつくように、一年が始まる節目に食べる料理ですね。本土の方
では、新年を飾るものということで、縁起をかついでダジャレにな
っているものが多いようです。例えば黒豆は「この年もマメ(健康
康)に暮らせるように」といった意味が、また鯛は「お正月を迎え
られてめでたい(タイ)」という意味だと聞きます。他にも里芋や数
の子は「あやかって子孫が繁栄するように」、昆布は「よろこぶ(こんぶ)」といったように、
たくさんある料理の一つ一つに色々な意味が込められて作られているそうです。

ところで沖縄のお正月料理といえば、やっぱり豚肉料理とターンム料理ですね 沖縄
は、本土の餅正月と比べて肉正月とも呼ばれているくらい肉料理が中心の正月となってい
ます。汁物はソーキブニか中身汁、またはイナムルチが出されますし、メインはラフテーや
ソーキの煮物、スーチカーなどが多いと思います。そしてお正月といえば宜野湾市特産の
ターンム!! ターンムは各家庭での調理法が色々あるでしょうが、ドゥルワカシーやリング
クが一般的だと思います。最近では本土のように、お節料理を用意するお宅も多いよう
ですが、やはり沖縄のソーグッチ(正月)料理は、豚肉とターンムで決まりですね(^ ^) / 末吉

= = 宜野湾市と移民 = =

沖縄県で最初に海外移民が出発したのは、1899年のことです。それから100年余りが経ちまし
た。昨年10月には「第4回 世界のウチナーンチュ大会」のような盛大な催しが開催されるほど、沖
縄は移民の多い県として知られています。

では、宜野湾市での移民の実態はどうだったのでしょうか。宜野湾出身者初の移民は、1904年
に始まります。その後、宜野湾出身者の移民の数は増加していき、1935年までには1,019人を
数えました。その主な移民先はフィリピン群島(355人)、ハワイ(289人)、ブラジル(192人)、ペルー
(114人)などです。移民になった主な理由としては、大かんばつによる凶作等で生活の見通しが立
たなくなったため、やむを得ず新天地をめざしたという事が考えられます。移民者の多くは風土や言
葉、習慣の違いのなか大変な苦勞をしたそうですが、少ない稼ぎを切り詰めて移民先から多額のお
金を沖縄にいる家族のために送り続けたそうです。その後起こった日米開戦時には、日系人への
風当たりが厳しくなりました。沖縄戦においては米軍に志願した沖縄二世や、移民からの帰国者の
活躍によって多くの県民の命が救われたといえます。終戦後には自らも苦しい生活であったにもか
かわらず、荒廃した沖縄の為に移民先から様々な救援の手を差しのべました。

戦後の沖縄では海外や県外からの引き上げ者の急増による人口問題を解決すべく、1948年
には海外移住が再開されました。宜野湾市では、1955年に米軍の土地収収で土地を奪われた伊
浜の住民(そのうちの10世帯59名)のブラジルへの移住がありました。

戦前、戦中、戦後と沖縄を支えてきた移民達...。100年を経た今、世代が変わりその関係も変化
を余儀なくされています。お互いの交流を深め、ネットワークを広げるまたとない機会としての「世界
のウチナーンチュ大会」を、今後ももっと県民が積極的に盛り上げていきたいものですね。 比嘉

入館料免除・資料館外貸出の申請について

申請する場合は、手続きが必要です

博物館では入館料の免除申請と、資料の館外貸出申請を行うことができます。
申請書に必要事項を記入の上、入館・貸出を希望する日の**1週間前（休日や祝祭日を除いた1週間前にご協力お願いします）**までに、直接博物館に提出してください。

申請書は内容等、又は当館の業務に支障がないか検討の上、許可の可・不可の通知を致します。

入館料の免除申請に該当する団体

宜野湾市内の小・中・高等学校で、教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。

宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。

その他、館長が免除することが適当であると認めた者。



主な貸出資料

収蔵品 ビデオ 写真パネル

～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心とした様々な生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集を行っています。宜野湾市の歴史や自然に関する資料も大歓迎です！！

もし「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。



～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票(謄本・抄本・除票)と印鑑証明のみ、市立博物館の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。
休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日の休みでない日が振替休日となります。
また、くん蒸などの臨時休館日も休みになります。
- 2) 午前9時～午後4時30分までの受付となっています。
- 3) 上記のとおり、住民票(謄本・抄本・除票)と印鑑証明以外は交付できません。

～ 平成18年度の事業案内 ～

2007年 1月～3月

月	日	曜日	内 容	期 間
毎月第3土曜日 (内容によっては、 変更があります)			第7期 わらばー体験じゅく 1月はターナムの収穫、 2月はそば作り&閉講式です 対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名 / 保険料徴収	受付は終了!! 昨年6月～今年2月 まで
3	1	木	平成19年度企画展のミニ予告展 「じの～ん写真展(仮称)」	3月25日(日)まで 入場無料 ネットp.3を参照!

～ 平成19年度の事業予定 ～

「第8期 わらばー体験じゅく」: 募集は5月を予定
 展示会は「宜野湾市の写真展」、「宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」、「新収蔵品展」、
 「慰霊の日のミニ展示」などを予定
 講演会は「沖縄戦と宜野湾市(見学会)」、「普天満宮からみた宜野湾市のお話(講演会)」、「身近な
 昆虫と木・草花(見学会)」などを予定

日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

詳しい日程や内容は、事業開催前に配布するチラシ等、あるいは市報や新聞・雑誌の情報欄、
 はくぶつかんネット、ホームページ等をご覧いただくか、博物館までお問い合わせください。

宜野湾市立博物館の案内



大型バスの駐車スペース有り

開館日・入館受付時間

平日、土、日曜日の午前9時～午後5時
 (入館受付は午後4時30分まで)

休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 その他、くん蒸による臨時休館日あり
 休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日
 の休みでない日が振替休日となります

〒901-2224
 沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1
 TEL : 098-870-9317
 FAX : 098-870-9316

常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

団体は20名以上からとなります。
 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。
 障害者の方は、障害者手帳を提示すると無料になります。

2階の図書室は、無料でご利用できます。
 但し、窓口での受付が必要です。